

講義名	生活文化論				授業形態	
担当教員	辻本　乃理子		開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4 時限		
			単位数	2	履修開始年次	2 年生
主題と概要						
我々の生活や環境は日々変化し、人々は社会状況に応じて暮らし方も変化させている。一方、「生活文化の継承・創造」が求められている。本講義では、地域の固有の文化やこれまでの人々の暮らしや生活の歴史、文化、伝統等を理解し、これらを継承しつつ、現在の暮らしや生活を豊かにする手段や方法に考察する。						
到達目標						
(1) 暮らしや生活の変遷や変化を理解することができる。 (2) 先人が築いた生活や文化、伝統を知ることにより現在の暮らしや生活の成り立ちを理解することができる。 (3) 生活の歴史や文化、伝統を理解した上で、それらを継承しつつ現代の環境に応じた生活や社会を創造することができる。						
提出課題						
講義中に課す小レポートおよび課題。提出方法は授業内での提出またはキャンパスクロスとしますが、講義中の教員の指示に従うこと。						
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法						
提出された課題の記述内容の紹介や評価コメントについては、キャンパスクロス及び講義中に行う。						
評価の基準						
試験70%。 講義中に課す小レポートおよび課題30%。 課題点は内容の充実度、分量など総合的に判断し採点する。 ただし、講義を妨害する行為がある場合は減点する。						
履修にあたっての注意・助言他						
・受講の内容を基に試験、小レポートを課すため毎回出席すること。 ・講義に関係のない私語は、講義に集中したい学生の迷惑になるため厳禁とする。 ・プリントの配布は、講義中のみ行う。欠席した学生には配布しないので注意すること。 ・講義連絡については授業内およびキャンパスクロスにて行うことがあるため、教員の指示に従うこと。またキャンパスクロスの確認を行うこと。 ・授業後、各回の講義で配布したレジュメ、資料を用いて復習を行い各自内容理解に努めること。不明点に関する質問は積極的に行うこと（質問はキャンパスクロスおよび授業内でフィードバックする）。 ・授業計画は、進行状況により多少前後、変更する場合がある。						
教科書						
・使用しない。						
参考図書						

その他	
必要に応じてレジュメ、資料配付。参考文献については講義中に適宜紹介する。	
授業計画	
第1回：本講義の概要説明、オリエンテーション 予習：シラバスを読み、授業の概要を理解し、気になったキーワードについて事前に調べておくこと（120分） 復習：配布資料やノートを確認し、授業の進め方を理解しておくこと（120分） 第2回：生活文化と食①　食生活の歴史 予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分） 復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分） 第3回：生活文化と食②　和食について 予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分） 復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分） 第4回：生活文化と食③　日本の年中行事と行事食 予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分） 復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分） 第5回：生活文化と食④　世界の食文化 予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分） 復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分） 第6回：生活文化と食⑤　食文化について 予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分） 復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分） 第7回：生活文化と食⑥　日本の茶の歴史―江戸～大正時代まで 予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分） 復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分） 第8回：生活文化と食⑦　日本の茶の歴史―昭和のファッション 予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分） 復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分） 第9回：生活文化と食⑧　日本の住まい―起源～平安時代 予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分） 復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分） 第10回：生活文化と住居①　日本の住まい―戦後～団塊の世代の住宅の歴史 予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分） 復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分） 第11回：生活文化と住居②　日本の住宅の発展―現代住宅への影響 予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分） 復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分） 第12回：生活文化と住居③　日本の住宅の発展―明治時代～昭和 予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分） 復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分） 第13回：地域社会と伝統、文化　地域社会における生活文化、伝統の現状とこれから 予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分） 復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分） 第14回：生活文化の継承　生活文化の継承について考える 予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分） 復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分） 第15回：本講義のまとめ、講義の理解度の確認 予習：これまでの授業資料・ノートを読み取り、内容を整理し疑問点を記録しておくこと（100分） 復習：配布資料をもとにこれまでの授業資料・ノートをふりかえり、内容を整理しておくこと（140分）	
授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	○　エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	
(1) 地域社会におけるの生活や文化、伝統について理解し、現代社会における豊かな生活を創造することができる。 活文化の継承と創造について考え、実践することができる。	
(2) 人びとの生活や文化などについて知識を得て、社会における生	
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
テーマにより教室全体との対話形式の講義も行う方針であるため、予習を行い積極的に発言ができるようにしておくこと。	
実務経験の有無及び活用	
備考	